

臨床研究に関する情報の公開

作成日：2026/8/26

研究課題名	鞍上進展した下垂体腺腫に対する被膜縫縮の有用性に関する検討
研究の対象	これまでの間に、下垂体腺腫に対して経蝶形骨法により腫瘍摘出手術を受けられ、術後の被膜内血腫形成を予防するため、トルコ鞍内に下降した被膜に縫縮を施行された患者さん。
研究目的	下垂体腺腫に対する経蝶形骨手術における重大な術後合併症である、摘出腔の血腫形成による視力障害を予防する術式を2008年に英論文（Acta Neurochir 2008-150-79）で報告した。以降、鞍上進展した下垂体腺腫に対して、腫瘍摘出後の被膜縫縮を施行している。これまでに本術式を行った手術例に関して、被膜縫縮の有用性と問題点を評価・検討する。
研究方法	術前、術後に関して、臨床症状、ホルモン負荷試験の結果、MRIなどの画像データを評価・検討する。特に、術後の評価としては、MRIでの鞍上部腫瘍のサイズの計測、摘出腔内の血腫形成の有無を検討し、被膜縫縮の有用性を検討する。また、術後のホルモン機能障害の有無、髄液漏の有無も同時に検討する。
研究に用いる試料・情報の項目 （例：血液、検査データ、診療記録等）	① 視力障害などの臨床症状、診療録記録 ② ホルモンなどの採血検査結果 ③ MRIやCTなど画像検査による腫瘍の形状変化
研究期間	2022年8月1日～現在研究継続中
外部への試料・情報の提供、取り扱いについて	原則、外部への試料・情報の提供は行いません。医療情報のデータの保管・管理は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。
研究代表者の氏名及び所属する研究機関の名称	北野 昌彦 社会医療法人寿会 富永病院 脳神経外科
研究責任者および試料・情報の管理責任者（共同研究の場合は研究代表者）の氏名及び所属する研究機関の名称	北野 昌彦 社会医療法人寿会 富永病院 脳神経外科
上記以外の研究機関の名称	
本研究に対するご質問などについて	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
ご質問のお問い合わせ先	社会医療法人寿会 富永病院 脳神経外科 北野 昌彦 〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-48 TEL:06-6568-1601 FAX:06-66568-1608 Email: mkitano@tominaga.or.jp 研究代表者 北野 昌彦